



新型コロナウイルス感染症に係るお願い

前途洋々

皆様もご存じのとおり、県内では新規陽性者数が高止まりの状態が続き、熊本市に対し「まん延防止等重点措置」が5月16日から6月13日まで適用されます。学校でも引き続き感染症対策を進めて参りますが、ご家庭でも手洗いの徹底や不要不急の外出を控えるなど、拡大防止へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

なお、児童に発熱等の風邪症状がある場合には、自宅で休養させていただきますようお願いいたします。同居のご家族に風邪症状が見られる場合も自宅待機となります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。（欠席ではなく、出席停止扱いとなります）

また、感染症に関する関係者のプライバシーや人権については格段のご配慮をいただくとともに、うわさや風評被害（コロナ差別発言等）が決して生じないような対応をお願いいたします。

学校いじめ防止基本方針を 改定しました

令和2年11月24日に熊本県いじめ防止基本方針が改定されたことを受け、本校の方針も再度見直しました。いじめは、いじめを受けた児童の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えます。そのため、学校生活において、日常的にいじめ防止等のための取組を進めていきます。なお、改訂版はホームページにアップしています。（いじめに限らず）何かご心配な点がありましたら、遠慮なく学校へご相談ください。



これから梅雨の季節を 迎えるに当たって

5月17日（月）にもメールでご連絡したところですが、大雨が心配される時期に入りました。ここ数年、大雨による災害が頻発しており、昨年度の球磨川流域における水害も記憶に新しいところです。また、水難事故に関するニュースも後を絶ちません。子供たちには、増水した河川や水路には近づかないようご家庭でも繰り返しご指導ください。また、普段の生活でも、水のある場所へ子供たちだけで遊びに行かないよう併せてご指導をお願いします。

5月18日「ふるさとくまさんデー」の紹介

さて、5月18日（火）の「ふるさとくまさんデー」のメニューは、「つなひきよいしょ、牛乳、豆腐汁、竹輪のお茶あげ、にがごりのひこずり」でした。5月の献立表をいただいた日から、この日のメニューがとても気になっていました。なぜなら、聞き慣れない名前のメニューばかりだったからです。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、「つなひきよいしょ」とは、大豆と小豆を使った混ぜご飯のことです。なぜこの名前がついているのかというと、山鹿市の民話が由来となっています。山鹿の名所に、不動岩と権現山がありますが、この二つの山には「不動岩と権現山の綱引き物語」という民話が残っています。おいしい小豆を食べて育った「不動岩」と固い大豆を食べて育った「権現山」が、綱引きの勝負をしたというお話だそうです（勝負は「権現山」の勝ちでした）。山鹿にお住まいの教頭先生はご存じでしたが、私は全く初めて聞くお話でした。面白いですね！

次に「ひこずり」ですが、「ひこずり」とは「こする、いためる」という意味で、「ひっこする」という山鹿・鹿本の方言です。にがごりを炒めて、みそや砂糖、みりんなどで味を付けてあります。また、「豆腐汁」は、山鹿でお祭りやお祝いの時に食べられる料理で、三角に切った豆腐を入れるのが特徴だそうです。

最後に「竹輪のお茶あげ」ですが、山鹿市はお茶の産地としても知られています（本校区内でも栽培されていますね）。お茶の食物繊維は水に溶けないため、抹茶にして料理に使うと吸収されやすくなるそうです。

今回は、山鹿地域の特産物を使った「ふるさとくまさんデー」でしたが、地域の特色やすばらしさも味わうことができ、たいへんおいしくいただきました。

